

令和6年度 いのちの授業 事例集（特別支援学校）【道徳】

掲載数

7

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 川崎市	高3	道徳	人権尊重教育	知的障害教育部門の生徒を対象として実施した本授業では、川崎市子どもの権利条例の中から自分が大切にしたい権利について考え、意見交流を行った。生徒Aは過去に肌の色を理由に同級生に差別された経験から、“個別の必要に応じて支援を受ける権利”を大切にしたいと述べていた。また、生徒Bも過去に友達から暴力を受けた経験から、“自分を守り、守られる権利”を大切にしたいと意見を述べる事ができた。その他の生徒についても、子どもの権利についてを自分事として捉え、これまでの経験を踏まえながら自分の思いや考えを伝える事ができた。授業前は人権についてのイメージをもてない生徒が多くいたが、本授業を通して「人権とは人間として、幸せに生きていくための権利」であることを理解することができていた。	NPO法人教育活動総合サポートセンター 山田雅太様 子どもの権利条例
2 川崎市	高2	道徳	人権尊重教育	知的障害教育部門の生徒を対象として実施した本授業では、GIGA端末情報共有サイト「人権尊重教育資料」を用いて、イラストを見て相手の気持ちを考える活動を行った。生徒Aは、泣いている顔のイラストを見て、実際にその表情を真似し、ワークシートに「かなしい」と記入した。生徒Bは、魚釣りの教材を用いる活動の中で、「笑ってる！」と魚の表情を読み取り、様々な表情を「いいきもち」と「よくないきもち」に分類することができた。本授業を通して、多くの生徒が楽しみながらイラストを見て表情を読み取り、どのような気持ちかを考えることができていた。最後に、たくさんの「いいきもち」であふれる学校生活にしようとして振り返りを行った。	GIGA端末情報共有サイト「人権尊重教育資料」子どもの権利学習 低学年：かがやき
3 横須賀市	小6	道徳	命のメッセージ	「命のメッセージ」の教材文を読み、交通事故で一人息子を失った母親の鈴木さんの気持ちについて考えた。小学6年生の児童にとって、母親の気持ちを考えることは難しかったが、子どもが目指していた大学を母親が受験し、息子が叶えられなかった夢を母親がやり遂げようとする姿から、命の重みについて考えることができた。終末に鈴木さんから小学生に書かれた手紙を読み、「命を輝かせるにはどうしたらよいか」を自分なりに考えることができた。	

4	神奈川県	小6	道徳	奇跡の再会	東日本大震災発生後、瓦礫の中で毛布に身を包む一人の女性の写真を題材に、我が子の行方を捜す母の想いや、幼稚園に取り残された子どもと職員の命を救った決断、自衛隊の活躍などを取り上げ、家族の絆や命の大切さについて考えさせた。地震発生から3日後に親子が奇跡の再会を果たすまでを新聞やニュースなどの記録を辿り、自然災害の恐ろしさや絆の大切さについて考えさせた。	
5	神奈川県	中3	道徳	生命尊重	スーザンさんのペットの殺処分からの保護活動を通して、命の向き合い方について追求する中で、自他共に生命の尊さについて考える。 動画を視聴し、「人間にとってペットはどのような存在か」「人間も動物も幸せに暮らしていくために大切なことは何か」について考えをまとめ、発表した。 スーザンさんの保護活動に対する見方・考え方や保護活動を支える心の在り方を、道徳的価値(生命尊重)を関係づけながら対話を通して、考えていくことで生命の尊さについて考えるきっかけとなるよう進めた。	NHK for School SEED なやみのタネ
6	神奈川県	中2	道徳	カブトムシを育てよう	<ul style="list-style-type: none"> ・カブトムシの蛹を教室で飼い、様子の観察やiPadを用いての記録を行った。 ・蛹が羽化する様子も観察することができた。 ・羽化したカブトムシに餌を与えたり、名前を付けたり、住処を作ったりした。 ・カブトムシが亡くなると、グラウンドの隅に埋め、いのちの大切さについて学習した。 	肢体不自由教育部門
7	神奈川県	高複合	道徳	友だちのいいところ探し	自分には良いところが無いのではと感じる生徒が居る中で、「誰にでも必ず、良いところがある」「人の良いところを見つけてあげられるようになる」ことを確認した。褒められた人は、「自分でも気づかなかった良いところを発見できた」と、自己肯定感にも繋がった。 「優しい」などの言葉以外に、ちょっとしたエピソードを添えられている生徒もいて、仲間が自分のさりげない思いやりの行動も「見てくれているんだ」と気付く場面が見られた。	